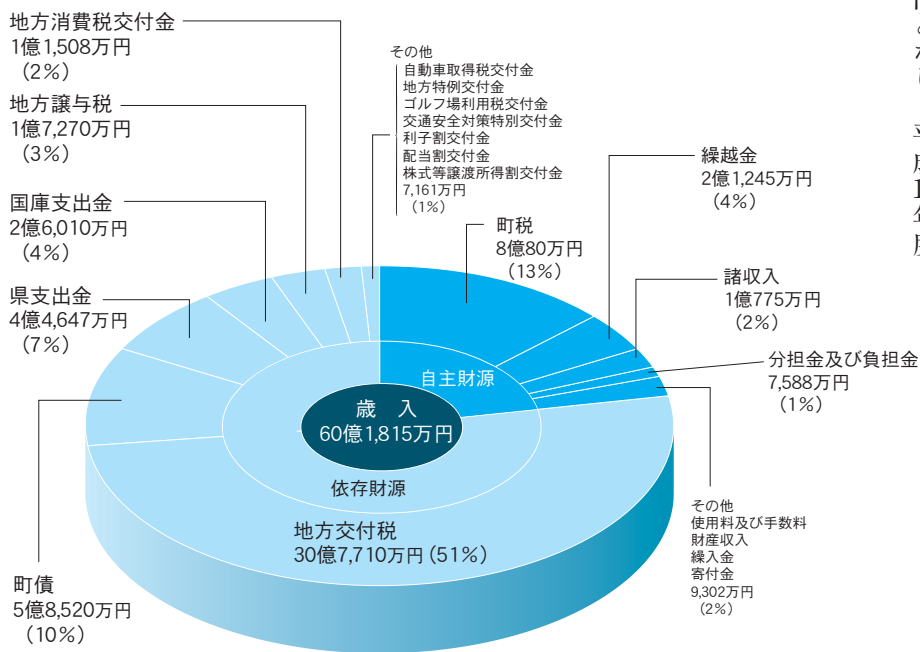


平成18年度  
**決算  
報告**

# 一般会計決算額は

歳入 60億1,815万円  
歳出 56億7,675万円

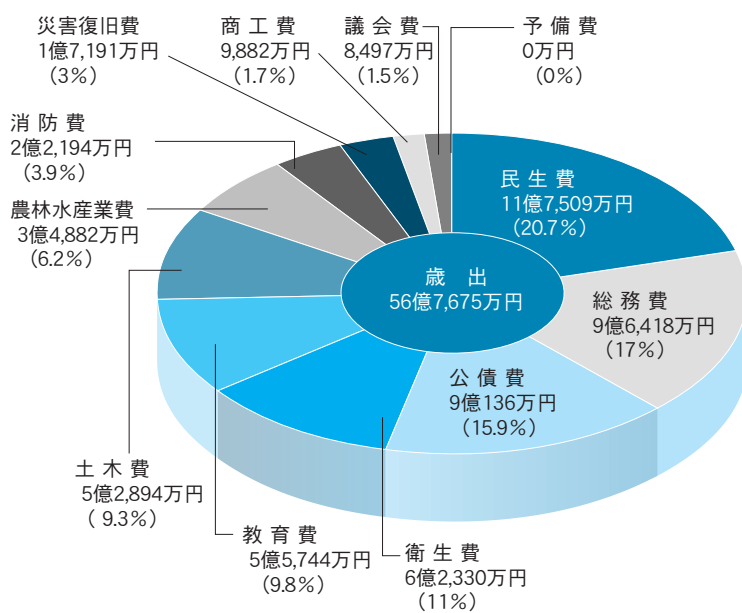
## 第1図 歳入 一般会計



一般会計の平成18年度決算額は、歳入総額60億1,815万円、歳出総額56億7,675万円であり、平成19年度に繰り越される事業の財源分を差し引いた3億1,424万円が純粋な剰余金として残すことができました。

平成18年度は、合併後初めて年間をとおしての予算執行となりました。今回は、一般会計及び特別会計の決算が9月の定例議会で認定されましたので、その概要をお知らせします。

## 第2図 歳出

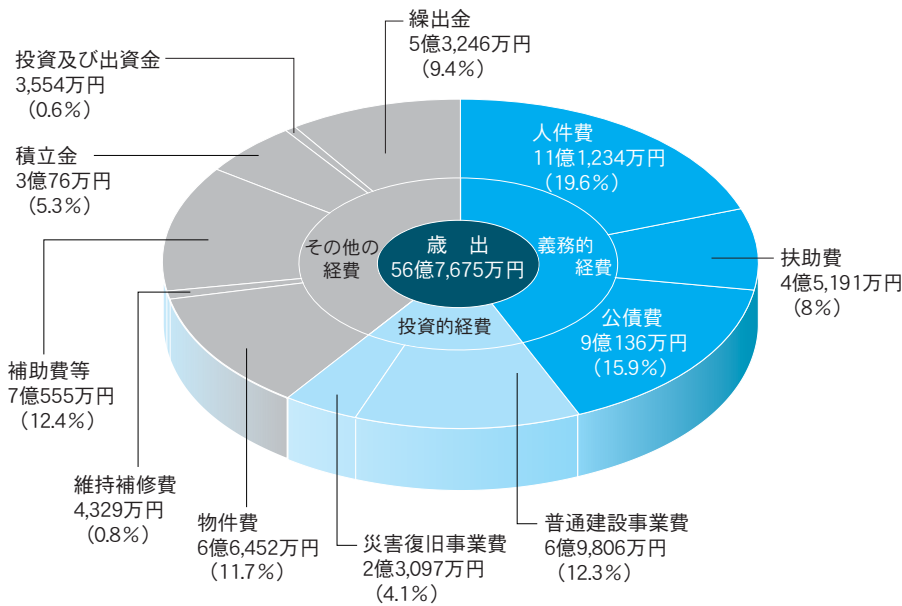


※四捨五入の関係で総額と項目別の金額の合計が異なります。

まず歳入(図1)では、自主財源と依存財源に分けられますが、自主財源12億8,900万円(21.4%)、依存財源47億2,825万円(78.6%)と、約8割近くが地方交付税などといった依存財源に頼っています。次に歳出の目的別(図2)は、町の活動目的ごとに区分され、それぞれのかなりの資金が使われているを示しています。18年度は、福祉の充実や子育て支援などの経費として民生費が全体の20.7%を占めています。次いで、庁舎の維持管理や人件費として総務費が17.0%、公債費(15.9%)、衛生費(11.0%)、教育費(9.8%)、土木費(9.3%)となっています。

## 第3図 歳出（性質別）

性質別（図3）では、人件費など11項目に分類されています。平成18年度は、人件費が職員数の減などに伴い、前年比16.5%の減となりましたが、全体で19.6%と最も大きな割合を占めています。次いで、公債費、補助費、普通建設事業費の順になっています。



### 用語の説明

#### 義務的経費

人件費、公債費（借入金の償還）、扶助費（児童手当、支援費等）など行政を行っていくうえで必ず必要となる経費のこと。

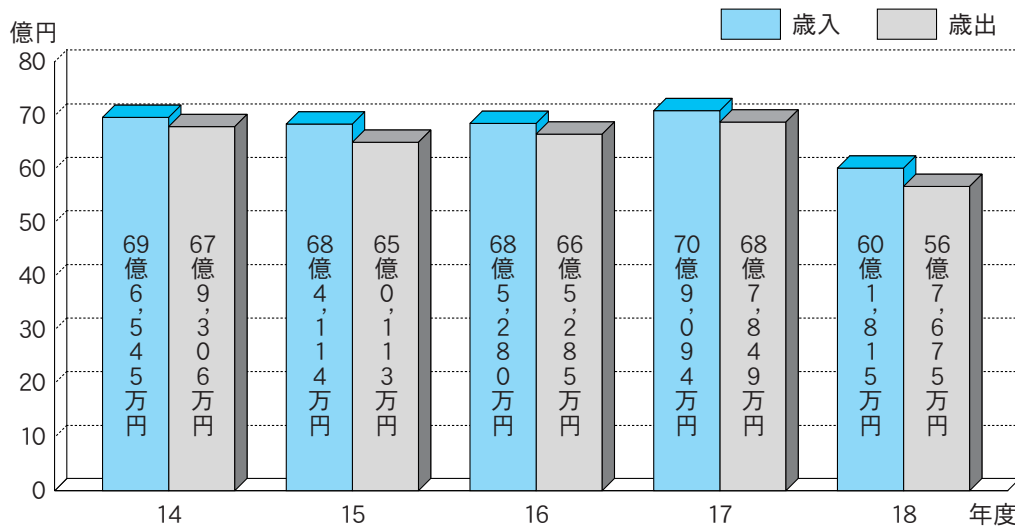
#### 投資的経費

普通建設事業費（学校の建設や下水道、道路の建設）など、住民サービスにかかわる経費のこと。

#### その他経費

物件費や補助費等など、義務的経費や投資的経費に含まれないお金です。

## 第4図 一般会計決算額の推移



### 特別会計の決算

会計区分	歳入額	歳出額	差引残額
国民健康保険事業会計	16億1,472万3,791円	13億2,513万8,209円	2億8,958万5,582円
老人保険事業会計	17億1,543万7,486円	16億9,595万6,923円	1,948万653円
介護保険事業会計	14億2,865万7,536円	13億8,431万5,397円	4,434万2,139円
特別養護老人ホーム事業会計	5億960万1,167円	4億3,719万3,043円	7,240万8,124円
国民健康保険和光町立病院事業会計	9億2,978万7,597円	9億5,776万8,159円	△2,798万562円
簡易水道事業会計	3,826万3,705円	3,360万5,717円	465万7,988円
下水道事業会計	1億2,141万5,759円	1億560万7,033円	1,580万8,726円
特定地域生活排水事業会計	6,153万5,429円	5,988万5,225円	165万204円
奨学金貸与事業会計	1,284万6,516円	579万7,740円	704万8,776円
住宅用造成事業会計	1,355万5,625円	983万2,761円	372万2,864円
工業団地造成事業会計	481万3,601円	2,600円	481万1,001円
春富財産区特別会計	232万5,678円	7万400円	225万5,278円